

公明党

質疑

1 就業構造基本調査について

働きながらの介護が困難とならないよう、データに基づいた政策立案を関係各課と連携をとっていただきたい。

質疑

2 高校進学支援金について

必要とする世帯に進学支援金を漏れなく支給できるよう、より効果的な周知に取り組み、支給額引き上げも検討していただきたい。

質疑

3 高齢者が安心して利用できる介護サービスについて

まれに寄り添ってくれないケアマネージャーがいる中で、安心して利用できる支援をお願いしたい。

質疑

4 フッ化物洗口の対象学年の拡大

むし歯予防のため、フッ化物洗口の対象学年を拡大してはどうか。



質疑

5 特定健診受診率向上に向けて

特定健診の目的から、40、50代の国民健康保険被保険者の受診率のさらなる向上策が必要。

質疑

6 潜在保育士の掘り起こしに向けて

保育士不足は問題であることから、潜在保育士の掘り起こしのための新たな対策は。

質疑

7 子育て支援優良企業認定制度の周知広報について

子育て支援優良企業を認知していくため、周知、広報が肝心である。

質疑

8 教育の情報化推進経費について

こどもたちの学びのためにも、ICT教育に関わる適正予算の確保は重要である。限られた予算を効果的に利用するための工夫・取り組みを今後もお願いしたい。

質疑

9 骨髄等移植ドナー助成事業について

移植に要する期間は1週間程度かかるため、その期間、ドナーに休暇を与えた勤務先の会社にも助成をするべき。

共産党

質疑

1 業務職や非正規労働者の処遇改善や介護保険の負担軽減は急ぐべき

保育士・看護師などのケア労働者の処遇改善と、学校現場の学期雇用はじめ市の業務職を中心にした非正規労働者の処遇改善を。公契約条例を制定して、委託先で働く人の処遇改善を。介護保険会計の基金80億円を活用し、次年度からの介護保険料は負担軽減を。



参政党

質疑

1 環境保全型農業直接支払交付金拡大の取り組みについて

本交付金の利用は毎年、近似値で推移している。有機農業推進のため、さらなる制度の利用拡充や周知方法の見直しなどを行うべき。



質疑

2 みらい創造青少年キャリア育成支援事業について

本事業は、青少年が地元熊本での就業を考える大きな契機。今後はオンラインのみでなく、リアルな企業見学なども取り入れるべき。



分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

スマートフォン等で読み込むことで、インターネット中継の録画映像をご覧いただけます。



総務

●防災士養成講座

近年の防災意識の高まりなどを踏まえ、講座の開催回数や募集定員増に向けた取り組みを求めたい。また、受講条件については熊本市在住者に限らず、市外在住の本市への通勤者も対象となるよう検討を求めたい。



●防災会議開催経費

防災会議における女性の参画率向上につながるよう、女性参画の意義を周知するとともに、他都市の取り組み事例を参考にするなど、関係団体への働きかけについて工夫を求めたい。

教育市民

●熊本市自治基本条例の一部改正

今後も外国人などへの偏見や差別のない多文化共生社会の実現を目指し、鋭意取り組んでもらいたい。また、まちづくりの観点においても、多様な人々が主体的に参画できるよう努めてもらいたい。



●熊本市犯罪被害者等支援条例の制定

犯罪被害者などが行うさまざまな手続きにおいては、人的な支援体制の構築や窓口のワンストップ化といった負担軽減策について検討してもらいたい。

厚生

●熊本市こども計画の策定

本市がこれまで行ってきた既存のこども施策事業の取り組み内容を踏まえ、本市の子育て支援の特色を生かした計画となるよう努めてもらいたい。



●重症心身障がい児等在宅支援事業

医療型短期入所施設への補助については、事業所の安定的な運営が重要であるため、本市独自の補助制度の創設も含め、新設時のみならず継続的に行政からの支援を実施してもらいたい。

環境水道

●半導体関連企業進出に係る調査

台湾現地での企業の水資源利用状況の把握や対策などの研究にあたっては、今後、環境局のみならず、上下水道局とも連携して取り組んでもらいたい。

●市民リサイクル活動助成

登録団体数が減少傾向にあるが、地域コミュニティの拡充や活性化に資するよう、登録増に向けた積極的な制度周知に努めてもらいたい。



経済

●宿泊税検討委員会の設置

宿泊税の導入に向けては、他都市の状況や検討委員会の意見などを十分に踏まえながら慎重に検討を進めるとともに、制度設計にあたっては、関係者の理解を得られるよう、宿泊税を観光振興により効果の高い施策へ充当してもらいたい。

●旅行者の誘客・滞在の促進

台湾からのインバウンドの定着のためにも、アウトバウンドの拡大に資する全庁的な取り組みについて検討するとともに、インバウンドのさらなる拡大を見据え、訪日観光客の滞在日数増加に向けた取り組みを求めたい。



都市整備

●三年坂通りでの倒木

職員が現場に到着するまでにかなりの時間を要したことから、通報があった際には、迅速に対応できるよう、職員体制を整備してもらいたい。



●10分・20分構想

10分・20分構想の実施は、多額の費用が想定されることから、市民に対し計画段階から丁寧な説明と意見聴取を行ってもらいたい。